

平成19年度マスターセンター補助調査・研究事業

島根県内森林組合の現状と組合員の
意識調査から見た経営課題

報 告 書

平成20年2月

社団法人 中小企業診断協会 島根県支部

目 次

はじめに

第1章 林業と森林組合

- 1. 全国的な林業の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 島根県の林業・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 3. 近年の森林組合および島根県の林業に関する動向・・・・・・・・ 9

第2章 島根県内森林組合の概要

- 1. 森林組合とは・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 4
- 2. 島根県内森林組合の概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 7

第3章 財務、収益構造から見た島根県の森林組合

- 1. 財務・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 2
- 2. 収益構造・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 6

第4章 組合員アンケートおよびヒアリング調査

- 1. 組合員アンケート調査・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 0
- 2. 組合員ヒアリング調査・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 8
- 3. 組合員アンケート調査とヒアリング調査のまとめ・・・・・・・・ 6 3

第5章 島根県内森林組合の経営課題と方向性

- 1. 課題の整理・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 6
- 2. 経営課題と方向性・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 7

おわりに

資料編

はじめに

平成14年（2002年）の京都議定書の締結を受け、官民あげての地球温暖化対策として、平成24年（2012年）までの温暖化ガスの排出量削減目標達成に関連した記事、ニュースに触れることが多くなりました。その中で特に、森林による温暖化（炭酸）ガスの吸収効果が注目されています。

また、森林の持つ治山治水機能の重要性についても耳にすることも増えて参りました。

このように森林の持つ機能の重要性が叫ばれる中で、輸入材の増加、木材価格の低迷を受けた林業の不振により、森林整備が進まず、国内の森林の荒廃が進んでいると聞くことがあります。

このような森林、林業を取り巻く情勢の中、当県における森林組合の新分野進出支援事業に関与する機会があり、役員、職員の方々のお話を聞く機会がありました。今後、我々中小企業診断士が林業、森林組合に関与する機会も増えると思われ、また、普段、接触する機会の少ない林業とその担い手である森林組合について、この度調査研究を行うこととしました。

この調査が、今後の森林組合及び林業の再発展の一助になれば幸いです。

平成20年2月

社団法人 中小企業診断協会 島根県支部長 井脇 寛

担当診断士 井脇 寛

担当診断士 足立 修司